愛知地区教職員労働組合機関誌　2015，12，21　No 252

教労 21C

連絡先　tkondot3@nifty.com

HP　http://sky.netcommons.net/aikyo/htdocs/?page_id=55

希望と納得にもとづく血の通った人事を！

来年度の人事異動について校長面談が行われる時期となりました。人事の基本は一人一人を大切にすることです。希望と納得にもとづいた人事が行われることで，一人一人の教職員の意欲が上がり，その能力を子どもと学校のために生かすことができるからです。

＜希望に沿わないときは事前の打診を＞

毎年，**「希望していないのに転勤させられた」「希望しているところではなく，通勤距離が遠くなった」「突然転勤するように言われた」**等の声が届けられます。本人の希望が尊重されるような人事異動となるように改善が求められています。そして，どうしても希望に反するという場合には，内示日よりもなるべく早い段階で校長から本人に打診するなど，血の通った手続きを踏む必要があります。

＜文書での希望調査を＞

県下では，希望票を利用する地区が増えてきました。面談の前に校長から異動についての希望調査用紙が配布され，「異動の希望の有無，希望市町，理由や事情など」を記入して，校長面談が行われます。本地区でも下記のような希望調査票の採用を求めます。

＜不意打ち人事に泣かないために　希望をしっかり伝えましょう＞

あなたの職場では定期人事異動の希望調査がきちんと行われているでしょうか。校長は，希望調査をもとに，教職員の希望をしっかり把握し，正確に教育委員会に伝える義務があります。校長に希望をしっかり伝え，人事異動の面談経過もしっかり聞きましょう。

＜困った時は組合へ＞

困ったとき・不安なとき・不当だと思われたときは，愛知地区教労に相談してください。

本地区でも県下でも不当配転を撤回させた経験があります。全力で取り組みます。

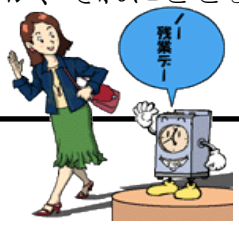
安心して働ける職場を目指して

あなたの職場は法律を守っていますか？

労働安全衛生体制の改善を

学校現場では授業時間が多く、行事の準備にも追われ、時間外まで仕事をしても明日の授業の準備すら十分できない毎日が続いています。県内では、毎年、現職の教職員の突然死が続くなど、いつ誰が倒れてもおかしくないほど大変な状況です。

労働安全衛生法（労安法）は、直接的には教職員の健康を守るためのものですが、それにとどまらず、働きやすい職場にすることを通して学校教育の向上にもつながります。



労安法に基づく体制

■ ５０人以上の職場では

◎ 衛生管理者の選任・・・少なくとも週１回学校を巡回し、空調設備などの施設・設備、温度・採光などの環境衛生、教職員の勤務実態等を点検し、問題があるときは所要の措置を講ずる。上記の措置等について、月１回の衛生委員会で報告するなど。

◎ 産業医の選任・・・教職員の健康管理を行うとともに、少なくとも月１回学校を巡回し、教職員の勤務実態、学校の衛生状態等の点検を行い、問題があるときは、所要の措置を講ずる。

◎ 衛生委員会・・・勤務中の事故等に関する原因調査・防止対策と勤務環境管理、長時間にわたる労働による教職員の健康障害の防止対策など。

■ １０から４９人の職場

◎ 衛生推進者の選任・・・学校を巡回し、空調設備などの施設・設備・採光等の環境衛生、教職員の勤務実態等を点検し、問題があるときは所要の措置を講ずる。

■ ストレスチェック制度（平成２７年度１２月より開始）＊　５０人以上の職場では義務化

■ 面接指導の実施（すべての職場）

◎ 週４０時間を超える労働が月１００時間を超え、かつ疲労の蓄積が認められる場合
ストレスチェックの結果、高ストレスであり医師による面接指導が必要と判断された場合

◎ 上記に該当しない場合でも、健康への配慮が必要な者については面接指導を行うように努める。

５０人以上の職場は義務化。
５０人未満の職場は努力義務

～　厚労省が推奨する「職業性ストレス簡易調査票」（抜粋）～

Ａ　あなたの仕事についてうかがいます。最もあてはまるものに〇をつけてください。

１　非常にたくさんの仕事をしなければならない。（そうだ　まあそうだ　ややちがう　ちがう）
２　時間内に仕事が処理しきれない（そうだ　まあそうだ　ややちがう　ちがう）
３　一生懸命働かなければならない（そうだ　まあそうだ　ややちがう　ちがう）
４　かなり注意を集中する必要がある（そうだ　まあそうだ　ややちがう　ちがう）

組み体操その後　　高さの規制の動きが・・・

小学校７７人、中学校２７人（１５年度）の負傷者

大村知事「安全性を確保するため、実施時の高さを２メートル程度に制限すべきだ」

愛知県の調査では（名古屋市を除く）県内の小中学校で組み体操で骨折などの重い怪我を負った児童生徒は３９６人（２０１３～２０１５年度の３年間）、１５年度に実施したのは６４７校。通院、入院、手術のいずれかを要する負傷は、小学校７７人、中学校２７人でした。

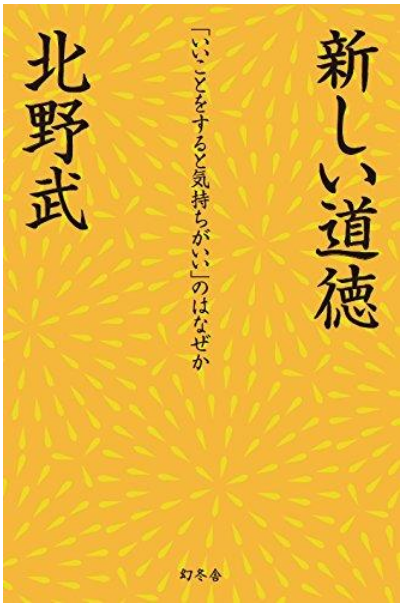
２７年３月の定例教育委員会において、長久手市教育委員会は全国の先陣を切って「７段までの人間ピラミッドを４段」を決定しました。１３ページにおよぶ資料（現状、問題点、危険性、県や国の考えなど）をもとに「県や国の動きを待つ姿勢から学校・地域から発信する姿勢」と考え、決断したようです。また、今年の運動会において、本地区内でも、豊明市M小学校のように、組み体操を止め別の表現種目に変更する学校が多く見られました。早くから組み体操の危険性を科学的に分析し、告発していた内田良名古屋大学准教授は「文部科学省は指導指針を作るべきだ」と指摘しています。

組み体操の問題は、「今までもやってきたので・・・」「ほかの学校（地域）がやっているので・・・」等の受け身の姿勢ではなく、「子どもの最善の利益」の視点から日々の教育実践を問い直す必要性を私たちに示しています。

この本がおもしろい！

「新しい道徳」（北野武著　幻冬舎　１０００円）

芸人で映画監督の北野武さんの著書です。あふれる批判精神で面白く、かつ、まっとうに道徳について書かれた１冊です。



学習指導要領で一律に道徳を教え込もうとする文科省には「人の頭の中にまで手を突っ込むのはやめ、自分の頭で考え判断する子どもを育てろ」とツッコミ。さらに、道徳で教えていいことは「世界は一人ひとり違う人間で成り立っている。誰でもあてはまるのは幸せになりたいと思っていること。自分が傷つきたくないなら他人を傷つけるのはやめよう」・・・子ども全員に教えていいのはこれくらいだと述べています。

道徳って何だろう？・・・
もう一度考えることができる本です。